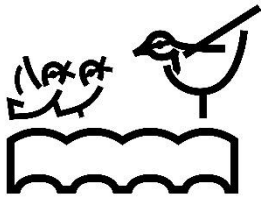


## 資料編



- 1 子どもの意見表明に関する取組
- 2 基礎データ
- 3 ビジョン検討委員会名簿・検討経過

# 1 子どもの意見表明に関する取組

## 「いたばし学級活動の日」の取組を紹介します

「いたばし学級活動の日」とは

子ども一人ひとりが大切にされる学級をつくり、社会に参画する態度を育成するためには、子どもが学級や学校の課題を解決するために話し合う経験を通して学ぶことが大切です。板橋区では、学校ごとに「いたばし学級活動の日」を設定し、話し合い活動の様子を保護者や地域に公開しています。

### 小学校



「5，6年合同お楽しみ会」や「教室の整理整頓」など、学級ごとに生活をよりよくする議題を決めて話し合いを行っていました。



「友達の意見をよく聞こう」「みんな楽しめるか考えて決めよう」といったためあてを明確にして話し合いを行っていました。

### 中学校



「いじめをなくすためにできること」を議題として話し合い、学級ごとにスローガンを決めていました。



「校則」やSNSのルールについて振り返り、生徒が主体的に考えるきっかけづくりを行っていました。

## 共に考え、共につくる – 生徒中心の校則見直し –

板橋区では、児童・生徒が、校則の見直しに主体的に参画することで、学校のルールを無批判に受け入れるのではなく、児童・生徒自身がその根拠や影響を考え、身近な課題に対し、自ら判断し行動できる力を育成することをめざし、校則について、少なくとも年1回は、自分たちで自分たちの学級や学校をよりよくしていくという意識と実践力を醸成する場をつくっています。

### 加賀中学校の取組

<生徒会を中心とした校則の見直し>

#### 【流れ】

- ① 一人一台端末を活用して、日常的に生徒の意見を受け付ける。
- ② 集まった意見の中から、生徒会が「校則の見直し」のテーマを選定する。
- ③ 学級委員が中心となって、各学級でテーマについて話し合う。
- ④ 各学級で出た意見について、学年で共有する。
- ⑤ 生徒会が、各学年から集まった意見を集約し、校則見直しの原案をまとめる。
- ⑥ 生活指導部会、職員会議で、生徒会の原案を検討する。
- ⑦ 校長が、見直した校則を決定する。



#### 【学級での話し合いの様子】



事前のアンケート結果を基に、  
班ごとに話し合う



議題や事前アンケートの結果は、  
端末で全員に配付されている



班の意見を学級全体で整理する



端末を使って他クラスとも意見を共有する

## 思いをカタチに～子どもの意見を反映した学校改築～

新しい学校のトイレって明るくなるの？



図書室は窓が大きくて、本を読むのが  
楽しくなる場所にしたいな

こんな子どもの素直な願いが、実際の学校改築の設計に活かされています。

上板橋第一中学校や志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校の改築では、子どもを交えたワークショップを開催。様々な学校建築の事例を写真で見ながら「こんな場所で過ごしたい！」という夢を語り合い、設計に取り入れました。

その結果生まれたのが、上板橋第一中学校の「(仮称)桜テラス」や「生徒ラウンジ」。志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校では、「居場所がほしい」という声から教室や職員室の周辺、メディアセンターなどに居場所となる空間を設ける方向で進めています。

板橋第六小学校では、改築計画と総合的な学習の時間を連携。4年生が「新しい板六小をつくろう」と題し、ユニバーサルデザインを学びながら自分たちの学校を考える授業を展開。その中でワークショップを実施し「こんな板六小になったらいいな」を話し合いました。長寿命化改修設計中の板橋第八小学校では、PTA主体で第4・5年生がワークショップを実施し、改修後の学校図書館について話し合いました。今後の設計に反映していく予定です。

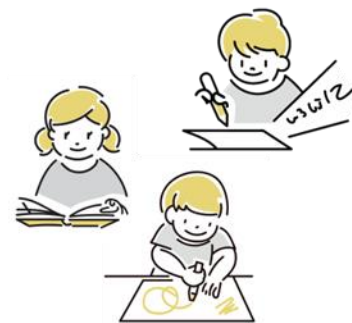
「自分たちの意見が形になる」体験は、子どもの学校への愛着と主体性をはぐくみます。今後も、子どもの意見を尊重した学校づくりを通じて、よりよい教育環境を創出していきます。



## 板橋フレンドセンターの運営

板橋フレンドセンターは、様々な理由で学校に通っていない児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所です。小学生と中学生が共に過ごせる環境で、スポーツやゲームを行うなど年齢を超えた関わりの中で互いに刺激を受けながら成長できます。外部講師による体験活動（創作活動、音楽やスポーツなど）を行っており、自分の興味に合わせて挑戦できます。集団での活動が苦手な場合は、絵を描いたり、本を読むなど、静かに過ごすこともできます。子ども自身が「やってみたいこと」「学びたいこと」を自由に選ぶことができ、スタッフは子どもの自主性を尊重し、必要なサポートを行います。

また、区内大学と連携し、大学生がスタッフとしてフレンドセンターの事業に参加しており、多様な年齢層の大人や子ども同士の交流を通じて、子どもは自ら考え、行動する力を自然と育てていきます。板橋フレンドセンターは、子どもが人とつながる喜びを感じ、自分らしく輝ける場所です。



## あいキッズにおける子どもへの意見聴取

あいキッズでは、定期的あるいは不定期に、子どもが安心して意見を言える機会を設け、日々の運営に子どもの意見を反映する取組を行っています。

### ○意見箱の設置

子どもが、自由意見、テーマ別意見、イベントの感想など、幅広くあいキッズの運営の意見を投函できる。

### ○子ども会議の開催

#### ①イベント・プログラムの企画・運営

開催したいイベント等や内容を話し合い、イベント等の運営に協力する児童の募集も行うなど、準備段階から主体的に関わってもらう。

#### ②補食の提案

提供してほしい補食や、一食あたりのカロリー等を踏まえた提供可能なメニューの具体的な内容を話し合う。



どのような意見も尊重し、互いの意見を大切にするといった、意見を聴く場に参加する人に守ってほしいグラウンドルール（意見を聴く場のルール）を決めることや、学年などにとらわれず、より多くの子どもから意見を聴けるよう、意見を聴く理由やどんな影響があるのかを適宜説明するなど、意見聴取を行うことへの理解を深めることを大切にしています。

#### ③遊具・書籍の検討会議

あいキッズに置いてほしい遊具や書籍・漫画、その理由やメリットを話し合う。

#### ④外遊び・体育館遊びのルールづくり

どのような遊びがしたいか、その遊びを安全に楽しく行うためのルール、実施する曜日や時間帯を話し合う。

#### ⑤あいキッズでの過ごし方のルールづくり

児童が互いに快適に過ごすためのルール、そのルールを守るために必要な事項などを話し合う。

## みんなにとどけ！「読書は楽しいよ」

中央図書館では、令和5年度より子ども司書活動を実施しています。5日間の講座を受け、中央図書館長から任命を受けた子ども司書は、子どもの読書推進のために活動しています（中央図書館近隣の小学校から募集）。

本が大好きな子ども司書たちは、読書推進活動について自分たちでアイデアを出し合うミーティングを毎年開催しています。初年度のテーマは「どうすれば、もっと多くの子が本に興味を持ってくれるか」。最初は「こんなに楽しいのに、どうして本を読まない人が多いのかな？」と疑問を感じていた子ども司書たちですが、みんなで話をしているうちに様々なアイデアが出てきました。



そこで生まれたのが「おしえて、君の好きな本」プロジェクト！子ども司書たちは、自分たちの学校で全校児童にアンケートを実施。タブレットでアンケートフォームを作成し、給食時間の校内放送で協力を呼びかけ、結果発表まで行いました。すべてが子ども司書たち自身の手によるものです。さらに、人気本のランキング表と心を引くポップを作成し、学校の目立つ場所に展示しました。

この活動は今後、区立図書館全館へと広がっていきます。子どもから子どもへ、子ども司書は「読書の楽しさ」を伝える大切な役割を担っています。

## 計画をつくるにあたって、子どもの声を聴きました

これからの学校に期待することは  
なんですか？

みんなが喜べる学校にするために  
必要なことってどんなことですか？



令和  
6  
年度

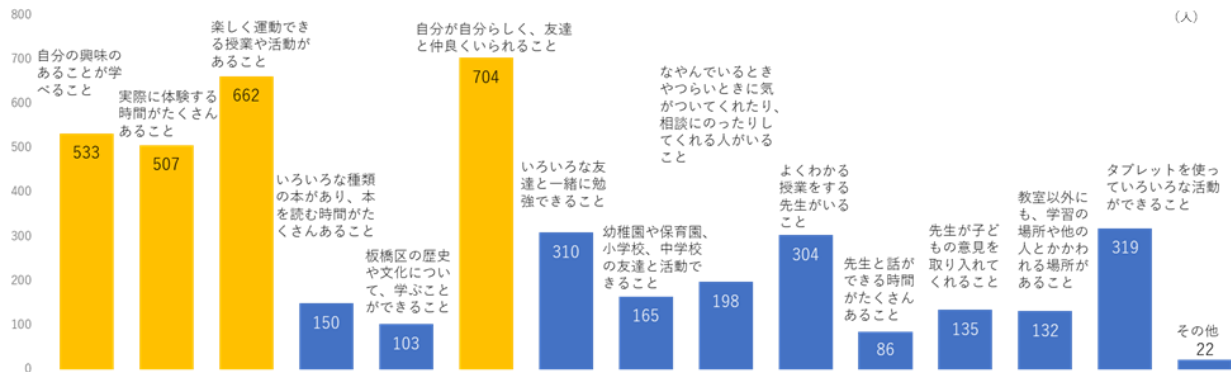
区立小・中学校に通う  
児童・生徒約2000人に  
アンケートを実施

板橋区の教育について計画をつくるにあたって、  
子どもアンケート及び子どもワークショップを行  
いました。ご協力いただいた皆さん、ありがとう  
ございました！



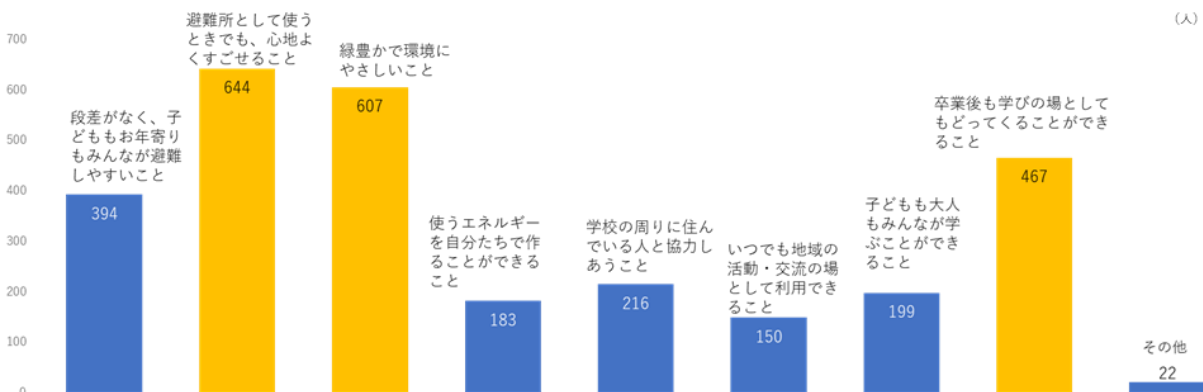
子どもアンケート  
結果（区HP）

### Q1 勉強や、先生、友達とのかかわりについて、あなたがこれからの学校に期待することは何ですか



- 01 自分が自分らしく、友達と仲良くいられること
- 02 楽しく運動できる授業や活動があること
- 03 自分の興味のあることが学べること
- 04 実際に体験する時間がたくさんあること

### Q2 建物や設備について、あなたがこれからの学校に期待することは何ですか



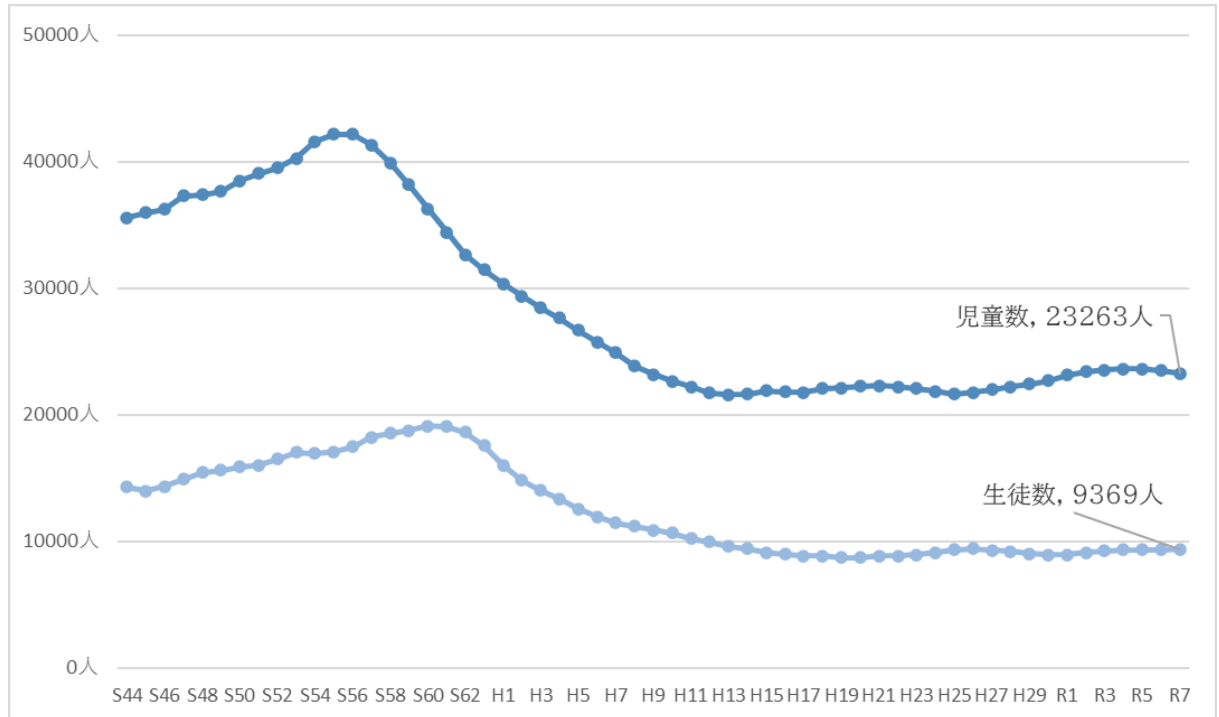
- 01 避難所として使うときでも、心地よく過ごせること
- 02 緑豊かで環境にやさしいこと
- 03 卒業後も学びの場としてもどってくることができること



## 2 基礎データ

### 1 板橋区の人口の動向

#### (1) 児童・生徒数推移（教育委員会事務局調べ）



#### (2) 幼児教育施設数（令和7年4月1日時点）（教育委員会事務局調べ）

| 分類     | 区立 | 私立  |
|--------|----|-----|
| 幼稚園    | 1  | 31  |
| 保育所    | 34 | 110 |
| 認定こども園 | 0  | 4   |

#### (3) 幼稚園年齢別在園者数（令和6年版板橋区の統計）

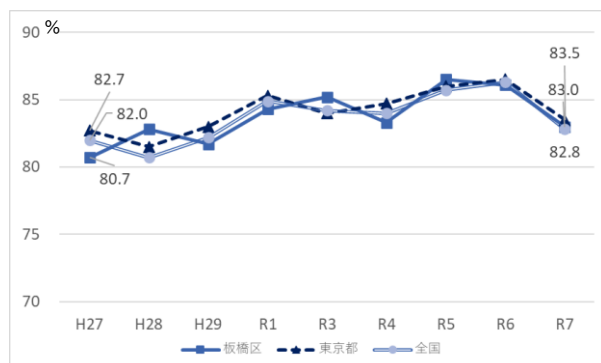
| 年度  | 総数 |      | 3歳 |      | 4歳 |      | 5歳 |      |
|-----|----|------|----|------|----|------|----|------|
|     | 区立 | 私立   | 区立 | 私立   | 区立 | 私立   | 区立 | 私立   |
| -   |    |      |    |      |    |      |    |      |
| 2年度 | 64 | 5568 | -  | 1822 | 26 | 1818 | 38 | 1928 |
| 3年度 | 37 | 5251 | -  | 1614 | 13 | 1838 | 24 | 1799 |
| 4年度 | 47 | 4805 | 11 | 1405 | 17 | 1592 | 19 | 1808 |
| 5年度 | 56 | 4303 | 18 | 1319 | 20 | 1419 | 18 | 1565 |
| 6年度 | 68 | 3893 | 18 | 1080 | 23 | 1375 | 27 | 1438 |

## 2 板橋区児童・生徒の状況

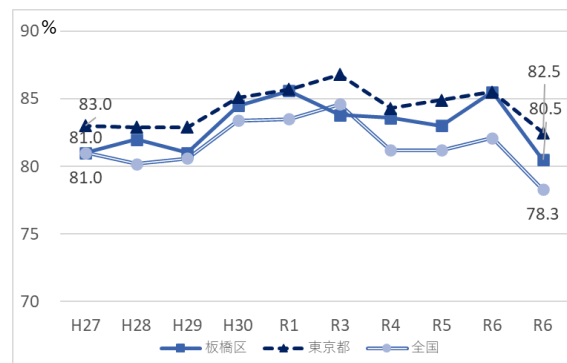
### (1) 学力等の状況

#### ① 授業の内容がよくわかると回答した割合（全国学力・学習状況調査）

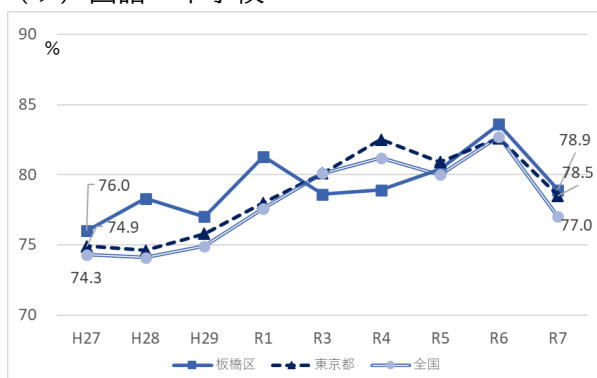
##### (ア) 国語 小学校



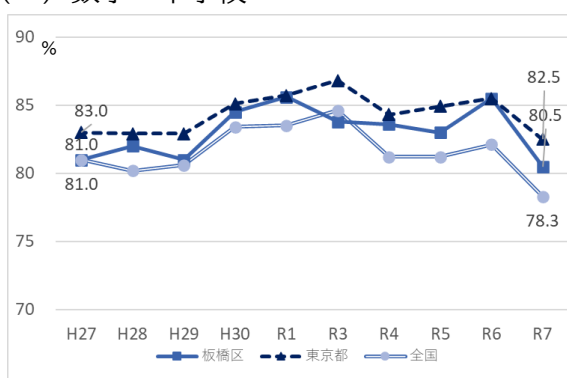
##### (イ) 算数 小学校



##### (ウ) 国語 中学校

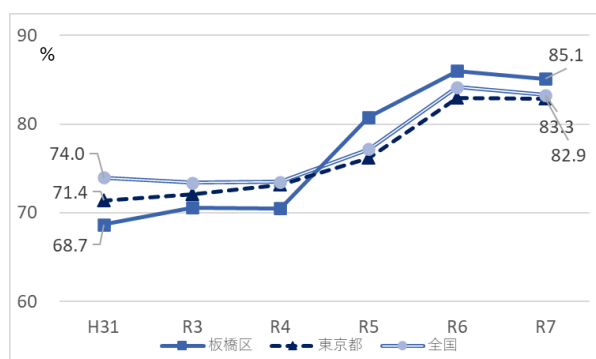


##### (エ) 数学 中学校

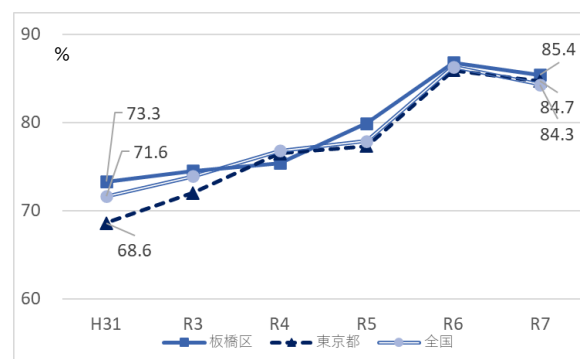


#### ② 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている割合（全国学力・学習状況調査）

##### (ア) 小学校

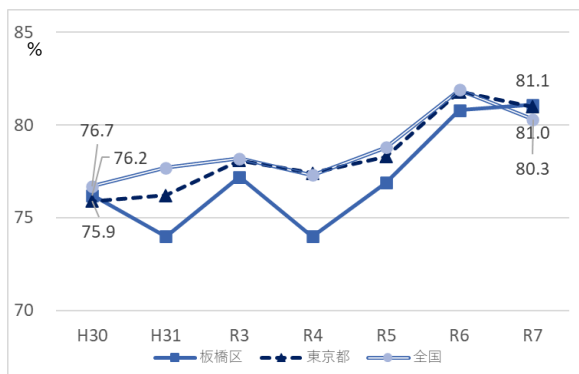


##### (イ) 中学校

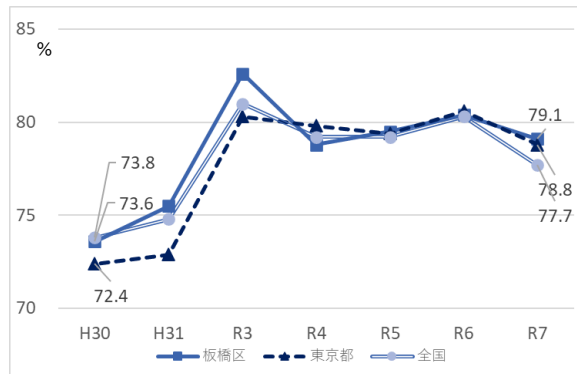


③ 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した割合（全国学力・学習状況調査）

(ア) 小学校

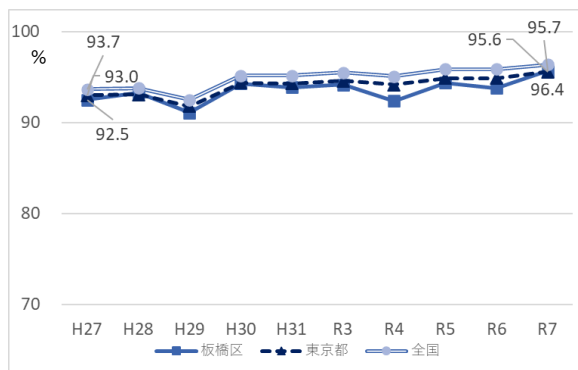


(イ) 中学校

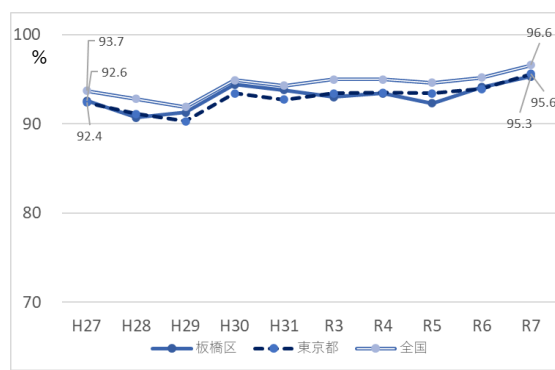


④ 人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した割合（全国学力・学習状況調査）

(ア) 小学校

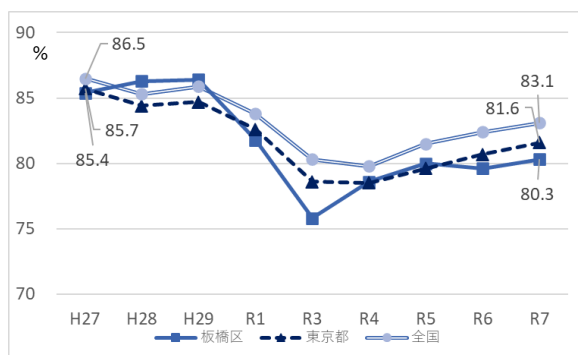


(イ) 中学校

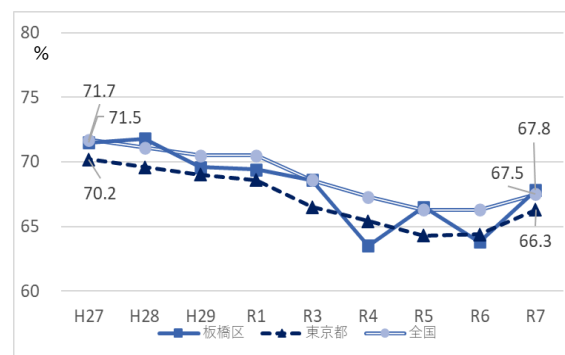


⑤ 将来の夢や目標を持っていると回答した割合（全国学力・学習状況調査）

(ア) 小学校



(イ) 中学校



- ⑥ 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用している割合（全国学力・学習状況調査）  
（令和7年度）

|     | 板橋区   | 東京都   | 全国    |
|-----|-------|-------|-------|
| 小学校 | 77.9% | 75.9% | 71.7% |
| 中学校 | 61.9% | 55.6% | 53.2% |

(2) 個別支援が必要な児童・生徒の状況

① いじめの状況

- (ア) いじめ認知件数・解消率（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）

|     |         | 元年度   | 2年度   | 3年度   | 4年度   | 5年度   |
|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 認知件数（件） | 5,096 | 2,834 | 3,979 | 4,683 | 4,742 |
|     | 解消率（%）  | 68.8% | 58.8% | 75.3% | 61.1% | 62.4% |
| 中学校 | 認知件数（件） | 415   | 211   | 298   | 417   | 290   |
|     | 解消率（%）  | 75.9% | 64.9% | 76.5% | 54.0% | 67.2% |

② 特別支援教育の状況

- (ア) 小学校 特別支援学級等学年別在籍者数（「板橋区の統計」参照）

| 年度  | 総数       | 第1学年    | 第2学年    | 第3学年    | 第4学年    | 第5学年    | 第6学年    |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 元年度 | 234(610) | 31(75)  | 25(88)  | 41(123) | 44(122) | 43(103) | 50(99)  |
| 2年度 | 236(680) | 27(97)  | 38(127) | 32(108) | 42(138) | 50(118) | 47(92)  |
| 3年度 | 257(778) | 35(109) | 34(140) | 48(156) | 39(129) | 45(138) | 56(106) |
| 4年度 | 261(850) | 23(143) | 45(155) | 42(168) | 61(141) | 43(126) | 47(117) |
| 5年度 | 282(822) | 36(130) | 33(175) | 56(154) | 46(162) | 65(107) | 46(94)  |
| 6年度 | 314(860) | 35(183) | 45(169) | 45(184) | 65(131) | 55(119) | 69(74)  |

※（ ）内は外数で、通級指導学級及び特別支援教室での指導児童数である。

- (イ) 中学校 特別支援学級等学年別在籍者数（「板橋区の統計」参照）

| 年度  | 総数       | 第1学年   | 第2学年   | 第3学年   |
|-----|----------|--------|--------|--------|
| 元年度 | 142(115) | 48(41) | 47(44) | 47(30) |
| 2年度 | 157(155) | 56(62) | 52(51) | 49(42) |
| 3年度 | 165(196) | 53(58) | 58(78) | 54(60) |
| 4年度 | 179(213) | 58(55) | 58(79) | 63(79) |
| 5年度 | 181(208) | 57(65) | 66(71) | 58(72) |
| 6年度 | 185(232) | 57(73) | 58(87) | 70(72) |

※（ ）内は外数で、通級指導学級及び特別支援教室での指導生徒数である。

(ウ) 特別支援学校児童数（天津わかしお学校）（教育委員会事務局調べ）

| 年度  | 総数 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|
| 元年度 | 30 | -    | -    | 2    | 4    | 10   | 14   |
| 2年度 | 33 | -    | -    | 3    | 5    | 9    | 16   |
| 3年度 | 17 | -    | -    | 1    | 5    | 4    | 7    |
| 4年度 | 24 | -    | -    | 5    | 6    | 10   | 3    |
| 5年度 | 32 | -    | -    | 3    | 10   | 11   | 8    |
| 6年度 | 31 | -    | -    | 5    | 4    | 10   | 12   |
| 7年度 | 23 | -    | -    | 2    | 3    | 7    | 11   |

(3) 外国人児童・生徒の状況

① 日本語学級児童数（通級）（教育委員会事務局調べ）

| 年度  | 総数  | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|-----|-----|------|------|------|------|------|------|
| 元年度 | 141 | 23   | 37   | 42   | 10   | 14   | 15   |
| 2年度 | 143 | 39   | 38   | 41   | 8    | 8    | 9    |
| 3年度 | 122 | 11   | 48   | 31   | 13   | 11   | 8    |
| 4年度 | 101 | 14   | 22   | 37   | 11   | 8    | 9    |
| 5年度 | 146 | 22   | 40   | 30   | 26   | 12   | 16   |
| 6年度 | 159 | 28   | 43   | 48   | 9    | 19   | 12   |
| 7年度 | 189 | 29   | 48   | 52   | 27   | 10   | 23   |

(4) その他

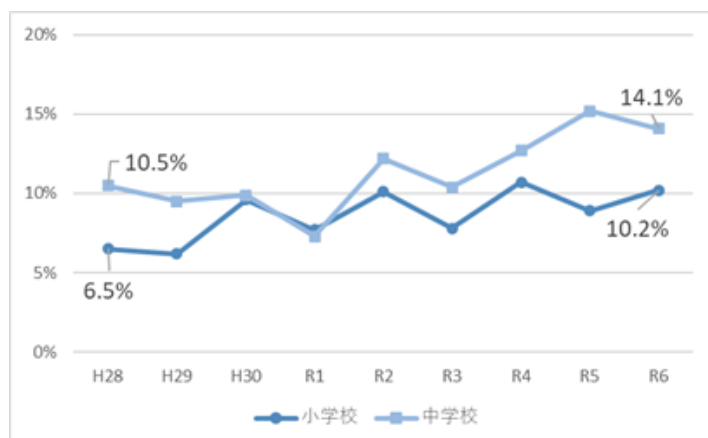
① 子どもの権利を知っている教員の割合（学校生活と子どもの権利に関する教員向けアンケート/セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

| 選択肢           | 割合    |
|---------------|-------|
| 内容までよく知っている   | 21.6% |
| 内容について少し知っている | 48.5% |
| 名前だけ知っている     | 24.4% |
| 全く知らない        | 5.6%  |

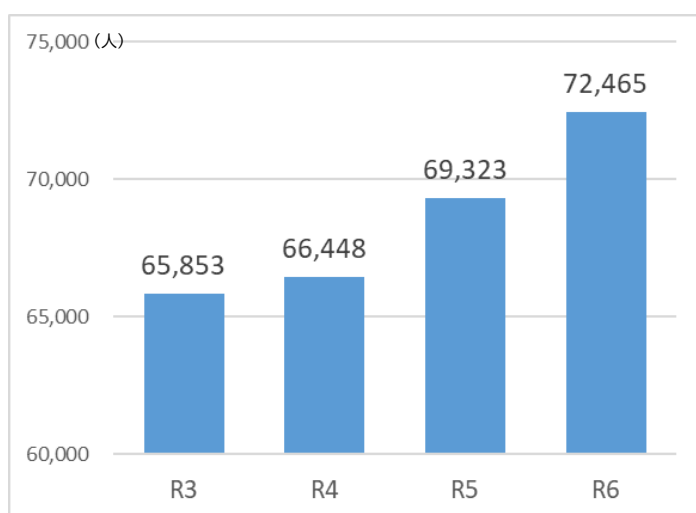
※全国の小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、外国人学校の教員を対象に実施した調査

### 3 学校と地域の連携及び生涯学習・社会教育の状況

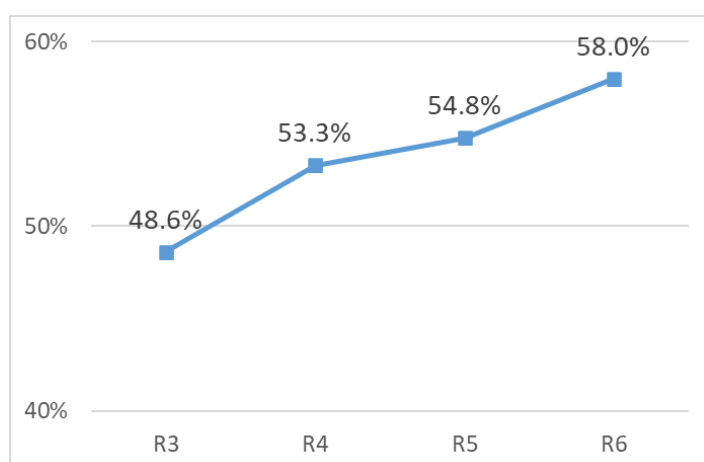
#### (1) 板橋区立学校の児童・生徒の不読率（読書についてのアンケート）



#### (2) 学校支援地域本部事業に参加した地域ボランティア数（延人数）（教育委員会事務局調べ）

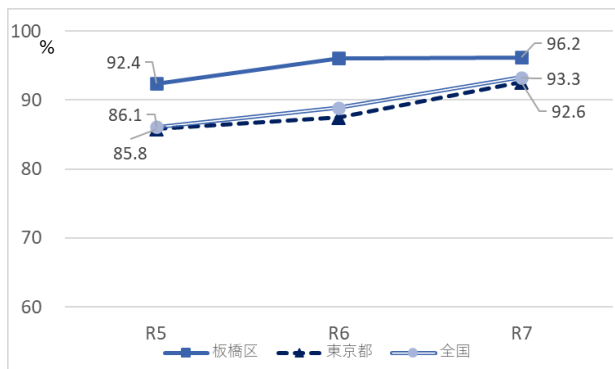


#### (3) 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の仕組みを活用し、地域と一体となって子どもたちをはぐくんでいる学校の割合（教育委員会事務局調べ）

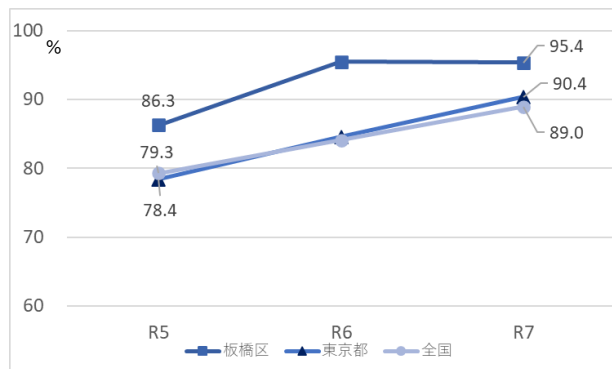


(4) コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まったと回答した学校の割合（全国学力・学習状況調査）

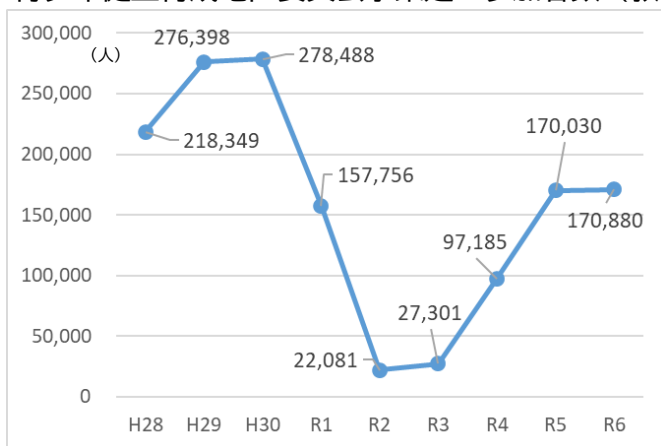
(小学校)



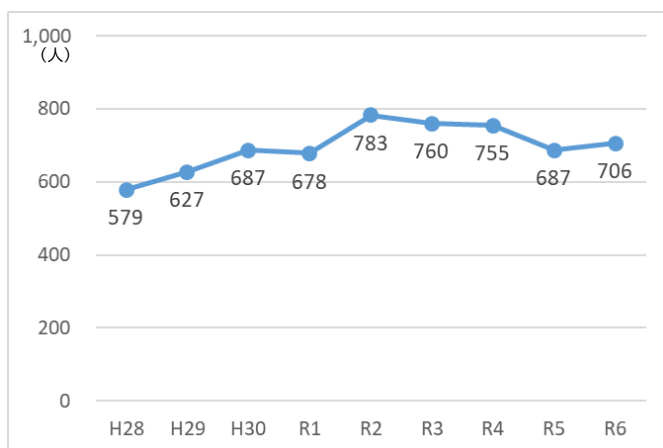
(中学校)



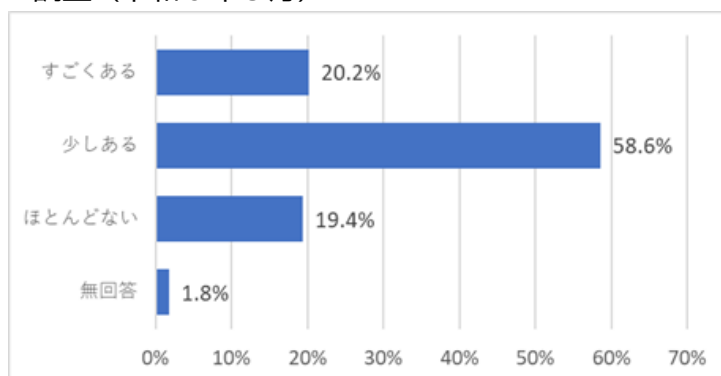
(5) 青少年健全育成地区委員会事業延べ参加者数（教育委員会事務局調べ）



(6) ジュニアリーダー人数（教育委員会事務局調べ）



(7) 子育てにおいて不安や悩みなどがあるかを問う設問（板橋区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（令和6年3月））



(8) やりたい種目・分野を部活動以外（地域のクラブや習い事など）で行っている割合（令和7年度）（板橋区立中学校部活動アンケート調査）

| 項目  | 割合    |
|-----|-------|
| はい  | 27.7% |
| いいえ | 72.3% |

(9) 部活動の設置・活動状況（教育委員会事務局調べ）

| 項目         | 元年度   | 2年度   | 3年度   | 4年度   | 5年度   | 6年度   | 7年度   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 部活動数       | 328   | 325   | 322   | 311   | 315   | 308   | 283   |
| 運動部活動      | 196   | 194   | 192   | 187   | 189   | 181   | 160   |
| 文化部活動      | 132   | 131   | 130   | 124   | 126   | 127   | 123   |
| 部活動加入率     | 91.6% | 87.0% | 87.5% | 81.1% | 83.0% | 87.7% | 82.6% |
| 専門的指導ができる率 | -     | 55.9% | 53.2% | 48.1% | 51.8% | 50.6% | 44.9% |
| 平均活動日数（平日） | 2.6   | 2.6   | 2.5   | 2.6   | 2.7   | 2.7   | 2.7   |
| 平均活動日数（土日） | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.6   | 0.5   | 0.6   |

### 3 検討委員会名簿・検討経過

#### 1 委員名簿

令和7年12月26日現在

| 委員属性    | 氏名      | 所属団体等                      |
|---------|---------|----------------------------|
| 学識経験者   | 天笠 茂    | 千葉大学教育学部名誉教授               |
|         | 笹井 宏益   | 玉川大学学術研究所高等教育開発センター特任教授    |
|         | 倉斗 綾子   | 千葉工業大学創造工学部デザイン科学科教授       |
|         | 児美川 孝一郎 | 法政大学教職課程センター長 キャリアデザイン学部教授 |
| 地域関係者   | 高田 美種   | 板橋区町会連合会 副会長               |
|         | 三枝 節夫   | 板橋区青少年健全育成地区委員会連合会 副会長     |
| 公募委員    | 豊田 毅    | 一般公募委員                     |
| 学校保護者代表 | 大塚 かな   | 板橋区立小学校 PTA 連合会 会長         |
|         | 安彦 直幸   | 板橋区立中学校 PTA 連合会 顧問         |
| 学校長代表   | 本間 篤子   | 板橋区立小学校校長会 副会長(加賀小学校校長)    |
|         | 木村 知広   | 板橋区立中学校校長会 会長(赤塚第二中学校校長)   |
| 板橋区     | 長沼 豊    | 板橋区教育委員会教育長                |
|         | 林 栄喜    | 板橋区教育委員会事務局次長              |
|         | 金子 和也   | 板橋区教育委員会事務局地域教育力担当部長       |

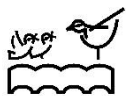
#### 前委員

- ・ 伊藤 千代美(板橋区立小学校 PTA 連合会 顧問)※第5回検討委員会まで
- ・ 中川 修一(板橋区教育委員会教育長)※第1回検討委員会まで
- ・ 雨谷 周治(板橋区教育委員会事務局地域教育力担当部長)※第5回検討委員会まで

## 2 検討過程

| 第1回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
|--|-----------------------|----|---------------|
| 日時   | 令和6年5月7日午前10時～正午      | 場所 | 災害対策室 AB      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員紹介</li> <li>・委員長の選出、副委員長の指名について</li> <li>・報告 板橋区教育ビジョン 2035 の策定について<br/>板橋区教育ビジョン 2025 の成果と課題について</li> <li>・議題 今後の検討テーマについて</li> </ul> |                       |    |               |
| 第2回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
| 日時   | 令和6年7月18日午前10時～正午     | 場所 | 北館 11 階第二委員会室 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告 前回の検討委員会の振り返り</li> <li>・協議 「子ども一人ひとりのよさや可能性を引き出し、伸ばす学びの推進」について</li> </ul>   |                       |    |               |
| 第3回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
| 日時   | 令和6年10月31日午後2時～4時     | 場所 | 北館 11 階第二委員会室 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告 前回の検討委員会の振り返り</li> <li>・協議 「子ども一人ひとりのよさや可能性を引き出し、伸ばす学びの推進」について</li> </ul>   |                       |    |               |
| 第4回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
| 日時   | 令和7年1月7日午前10時～正午      | 場所 | 北館 11 階第二委員会室 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告 前回の検討委員会の振り返り</li> <li>・協議 「子どもの学びや成長を支える人や環境の充実」について<br/>「生涯にわたり学び支え合う教育の推進」について</li> </ul>  |                       |    |               |
| 第5回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
| 日時   | 令和7年3月28日午前10時～正午     | 場所 | 災害対策室 AB      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告 第1回～4回のまとめ</li> <li>・協議 多様な学びの実現について</li> </ul>   |                       |    |               |
| 第6回板橋区教育ビジョン 2035 検討委員会  |                       |    |               |
| 日時   | 令和7年12月26日午前10時30分～正午 | 場所 | 北館 11 階第二委員会室 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「板橋区教育ビジョン2035」の名称変更について</li> <li>・「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035・アクションプラン2028-」(案)について</li> </ul>                                       |                       |    |               |





9つのめざす姿  
(教育)のシンボル

板橋区基本構想において、区が将来像  
「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち “板橋”」の  
実現に向けて掲げた「9つのめざす姿」を  
視点ごとに象徴したものです

MIRAI SCHOOL いたばし  
—教育ビジョン2035・アクション2028—

編集 板橋区教育委員会事務局教育総務課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目66番1号

TEL 03-3579-2639 FAX 03-3579-4214

kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

令和8年3月発行

刊行物番号 R07-117

